2014年6月16日

報道関係各位

日本共産党東京都議会議員団

認可保育園に入れない児童数の調査結果について

明日、17日の代表質問で、かち佳代子議員が、認可保育園の待機児童解消問題をとりあげます。今年度、認可保育園に入園したいと申し込みながら入れなかった子どもの数（旧定義）を調査しました。回答のあった19区24市4町村（島しょ除く）で入れない子どもの数は２万人弱となります。昨年より1942人、認可保育園に入所できない待機児童が増えています（別紙参照）。

また、認証保育所などの認可外保育施設に入所した子どもの数を除いた待機児童数（新定義）は、8049人（未回答の目黒区、府中市を除く22区25市4町村合計）で、昨年比245人増でした。

〇調査期間：　5月27日～6月11日

〇認可保育園に入りたいと申し込みながら入所できない子どもの人数

19区24市4町村で　19,527人　昨年より1942人増

★集計結果の主な特徴

〇14区17市町で待機児が増えており、1,942人、昨年の1.1倍です。0歳児は1.3倍になっています。特別区では全体の増加は、1,481人で昨年の1.1倍、0歳児は941人増加し1.4倍になっています。

〇依然として0歳～2歳児の待機児が多く、17,409人にのぼり、待機児全体の89%を占めています。3歳児は若干、減りました。

〇待機児は特別区が多く、14,134人、待機児全体の72%を占めています。

〇昨年の23区30市町村（島しょ除く）の待機児は合計21,360人でした（都議会予算特別委員会資料）。今回の調査から、今年4月の東京全体の待機児はそれ以上になることが予想されます。

※厚生労働省および東京都は、毎年６月中旬から７月頃、認可保育園に申し込んで入れなかった待機児童数（旧定義）から、認証保育所等に入園できた児童を除いた待機児童数（新定義）のみを発表しています。旧定義の待機児童数は、毎年、日本共産党都議団が厚生委員会（10～11月の事務事業質疑）および予算特別委員会に要求する資料で明らかにされています。

【問い合わせ】

日本共産党東京都議会議員団

（事務局）　佐藤

℡：03（5320）7270　内線：56-872